

## ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会（オンライン） 6/10（水）7/10（水）8/11（火）9/10（木）延べ20名参加！

新型コロナウイルスの影響により3月から休止していましたが、6月より再開しました！感染症対策として、室内は十分な換気を行いながら、びんずに集まれるのは予約制で5名までとしました。また、11時からの茶話会は、当面の間、飲食はしませんが、Zoomを使ってご自宅からも参加できるようにしました。

7月、8月には初めて参加して下さった方もいらっしゃいました。初めての方には、松戸市以外で配布されているライフサポートファイルの紹介もして、我が子の様子が書きやすい用紙はどれか、一緒に考えながら作業をすすめました。その後の茶話会では、Zoomで参加した方も含めて、就学のこと、投棄のことなどの話題でおしゃべりをしました。

10月以降もオンライン開催を予定しています。参加してみたいけど、IT系は苦手なZoomで参加できるか心配・・・という方は、ご相談ください。事前に練習できるようにサポートいたします。

### ～Zoomで参加した方の感想～

コロナの心配もあり、遠隔より参加できるのはありがたかったです。また、子どもが幼稚園なのでお迎えの時間が早いこともあって、自宅から参加だと時間の心配がなくて助かるなと感じました。

スタッフさんが、ZOOM参加のメンバーにも話しやすくして下さったので、楽しく参加できました。でも、やはり集まっている方々を見ていると、楽しそうで、やっぱり会って話したいなという気持ちがわいてきました！

### 【今後の活動予定】

☆就学・進路相談会（義務教育編）10月27日（火）（進学編）11月20日（金）

両日ともオンライン開催 10時～11時半頃まで  
お申し込みの詳細は別紙、またはHPをご確認ください。

☆ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会（茶話会はオンライン可）

10月9日（金） 11月10日（火） 12月10日（木）  
LSF作ろう会 10時～ 茶話会 11時～ 参加費 各1000円  
お申込みは、Emailからどうぞ。



# Jelly Beans News

発行日 2020年9月30日  
第5号



ジェリー・ビーンズはアメリカ生まれのポップなお菓子。箱を開けると、カラフルなお豆たちが飛び出します。ひとつひとつ違うから、キラキラ光ってきれいなんです。



## 代表挨拶

コロナ騒動が始まって半年以上が経ち、そろそろ3つめの季節を迎えました。ただでさえ予定の変更や環境の変化に弱い子ども達、どこのご家庭でも少なからずの影響や混乱があったのではないのでしょうか？学校が休校になり6月に再開したけれど記録的な長雨の後のこれまた記録的な猛暑、なかなか無くない感染者のニュースの中で普段より短い夏休みに入るもステイホーム中、どこへも行けないばかりか普段は居ないパパがお家でお仕事をしていたり・・・「どうして？」説明すれば一旦は飲み込める子どもでも「切り替えができない」「気持ちが付いていけない」そんな親子の大変な日常から「助けて！もう限界」・・・というママ達の叫び声がぼつりぼつり相談室の電話の向こうから聞こえてきています。そんなとき相談員は「気が付かなくてごめんね。何もできなくてごめんね。」と心の中で謝りつつ、しばらくお話を伺います。少しでも溢れかかった心が軽くなることを願って。

コロナ禍では世界中の、生まれたばかりの子どもから高齢者まで誰もが「我慢」を強いられる生活です。猛暑の中で着用しなければいけないマスクの様に本当に息苦しい世界です。これまでいくつ「コロナが落ち着いたらね」と言う約束を交わしてきたことでしょうか？一つも実現できていないのです。「待てない子ども、我慢できない子ども」の気持ちがこれほどに「解った」ことは無かったです。「見通し」というのは全ての人にとってこんなに大切なものなのですね。

しかし、いつまでも「先の見通しがつかない」と言っただけはいられません。私たちはそろそろ「攻め」に出たいところです。今年度に入り法人の理事会や職員カンファレンスをオンラインで行ってきました。元より当法人にはシステム管理者も居なければITに強い職員もおりませんが「習うより慣れろ！」の精神で回を重ね、また個々にオンラインセミナーなどに参加したりして経験を積み、この度毎年恒例の「就学・進路相談会」を初めてオンライン開催します。コロナが無ければこんな企画は無かったです。まさに「新しい生活様式」への挑戦です。お楽しみに！

NPO法人 子育て支援研究会  
代表理事 富永 文子



私たち NPO 法人 子育て支援研究会は、障害や不登校、引きこもりなどで、地域生活に困難のある子ども・若者に対し、福祉、教育、療育の視点を持った支援を行うとともに、その健全な発達支援活動を地域住民や地域団体に普及させ、公益の増進に寄与することを目的として、活動しています！

発行者：NPO 法人 子育て支援研究会 広報委員会  
Add. …千葉県松戸市小金原 9-5-42 びんず Labo  
Email … kodomokosodate.matsudo@gmail.com  
HP … <http://www.kodomokosodate-kenkyukai.org>





# コロナ禍の 新1年生



新型コロナウイルス感染症の影響で、長い期間の休校と自粛生活、そして学校の分散登校など、誰もが初めて経験することばかりでしたが、皆さんは、どのような気持ちで過ごされましたか？  
びんず会員の中から、今年度お子さんが小学校に入学をしたお二人にインタビューしました。

## Aくんママ (Aくん 市立小学校 情緒学級 1年生)

——3月の休校要請の後、どのように過ごしていましたか？

3月は、通っていた幼稚園も療育の教室もお休みにならなかったもので、いつもどおりに毎日通っていました。でも卒園式後は、なが〜い春休みでした。春休み、おでかけの約束をしていたことが叶わず、息子はグズグズしていました。

4月から通う予定だった放課後デイサービスは、電話で先生と話すだけ。学校にも行けない。ずっと家で過ごして、学校の宿題と、通信教材をしていました。通信教材は、今まで取り組めず溜まっていたものが一気にできて、スッキリしました！



——それは、休校期間があって、良かったということですか？

はい。私はこの時間がとても良かったです。この子は字が書けるようになるのか？と思っていましたが、たっぷりあった時間のおかげで、学校の宿題と通信教材を、よく丁寧に見てあげることができました。私は成果を感じることができ、息子も学校が始まってから困らずに学習に取り組めたようです。

——分散登校が始まってからの様子は、いかがでしたか？

私は「大丈夫かなあ・・・」「学校で生活できるかなあ・・・」と心配で心配で。とにかく不安でした。でも、息子は最初から楽しくてしょうがないという様子で、喜んで通っていました。



7月4日、入学式の代わりに、「入学を祝う会」が行われました！

——コロナ禍の新1年生の母として、今思うことは？

多少イラつきはしましたが、夏休みよりも長くずっと一緒にいたことは、私達の親子関係にプラスだったと思います。しっかり息子と向き合うことができました。私は「早く学校が始まらないかな〜」とは思わなかったもので、悪い時間ではありませんでした。お互い健康に過ごせて良かったなって、思います。



## Bさんママ (Bさん 松戸特別支援学校 1年生)

——3月に休校要請が出てから、6月に学校が再開されるまで、どんなふうにご過ごしていましたか？

自粛期間、娘はほとんど家で過ごしました。通園施設やデイサービスはやっていましたが、外に出ることは、コロナウイルスがまだよくわからない時期だったので、不安で通いませんでした。卒園式に出たくらいです。

でも、家で過ごす、寝ているか座っているかで、動くことがあまりできません。訪問リハや訪問看護の方は来てくださったけれど、「もっとリハビリを受けさせてあげたい・・・でも今は通えない・・・」という気持ちをかかえ、褥瘡になりかけた娘の身体のこと本当に一番心配でした。

——学校はどんなふうにはじまりましたか？娘さんはどんな様子でしたか？

6月から最初は1日おきの分散登校で、児童数が半分だったので、先生方が一人ひとりゆったりと関わってくれました。そのおかげもあって、娘は、警戒心がはやくとれたようです。

娘は春に体調を崩しやすいのですが、6月スタートだったことで体調の良い時期に通い始めることができたことは、良かったと思いました。そして、学校に行けば、緊張したり疲れたりするので、毎日ではなく1日おきの登校だったことも、逆に良かったです。

自粛期間中は不安でしたが、学校がはじまってみたら、風邪もひかずに体調良く過ごすことができ安心しています。

——コロナ禍の新1年生の母として、今思うことは？

学校のコロナ対策としての分散登校って、もしかしたら、コロナ禍でなくてもいいかもって思いました。先生にとっても、子どもにとっても・・・。



6月1日、入学式が行われました。パパとママと一緒に。



インタビューに答えていただいたお二人からは、とても前向きな気持ちで過ごされていたことを感じました。家庭の支えと学校側の配慮があって、コロナ禍の中でも、小学校生活を無事にスタートできた新1年生。これから学校で、楽しいこと、好きなことが、いっぱい見つかりますように！！